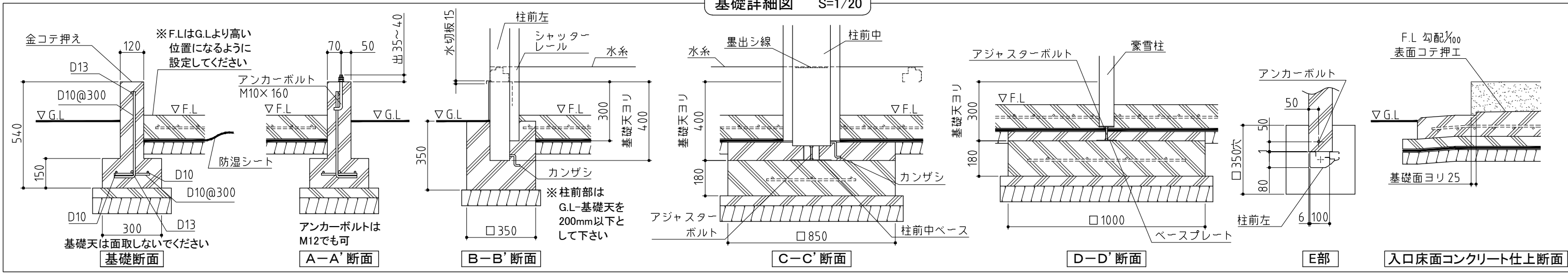


基礎詳細図 S=1/20



基礎図

〈縮尺〉S=1/50  
~豪雪型~

機種名 GRN-3657SL・HL・JL

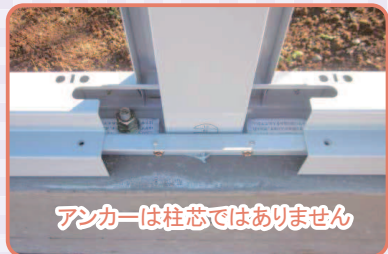
※寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

※本図は間仕切壁なし仕様の図面です。  
※強度の関係上、連棟数に応じて間仕切壁・耐力壁が必要となる場合があります。

# 基礎図参考資料

## GRNタイプ3162連棟の場合

※下記寸法はGRN-3162S・H・JL-3連棟の寸法です。施工の際は必ず対象機種の基礎図寸法に則して下さい。

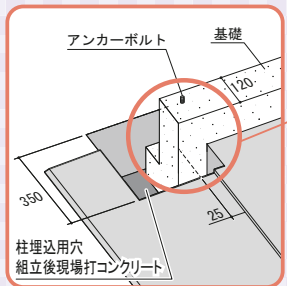


アンカーは柱芯ではありません

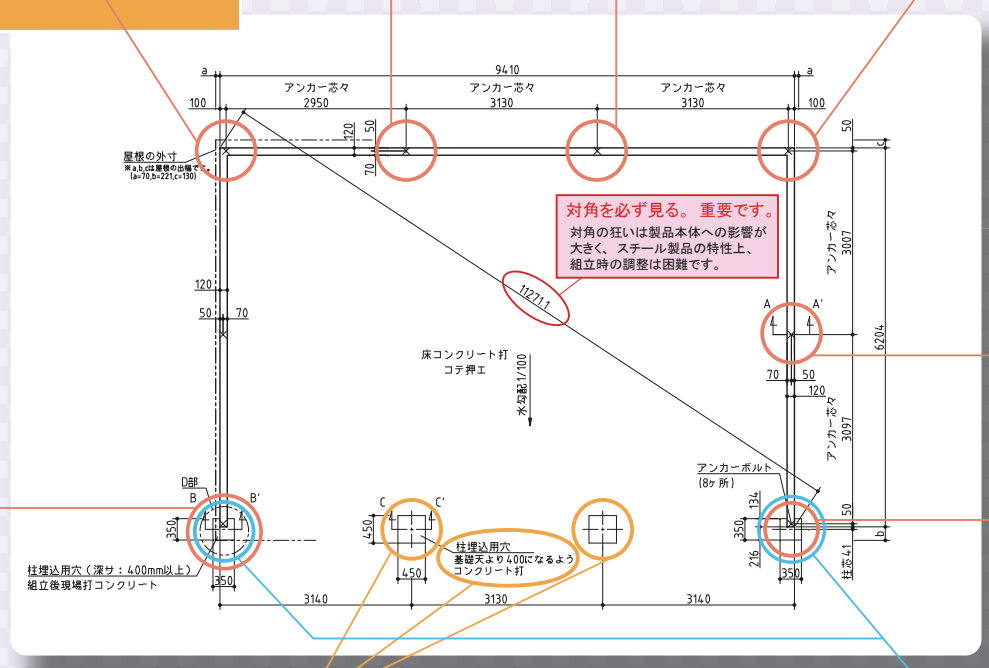
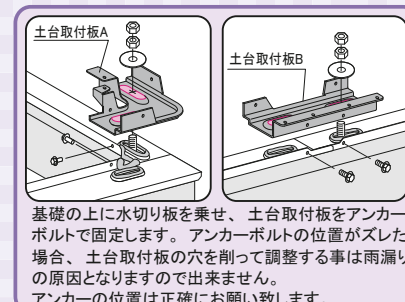
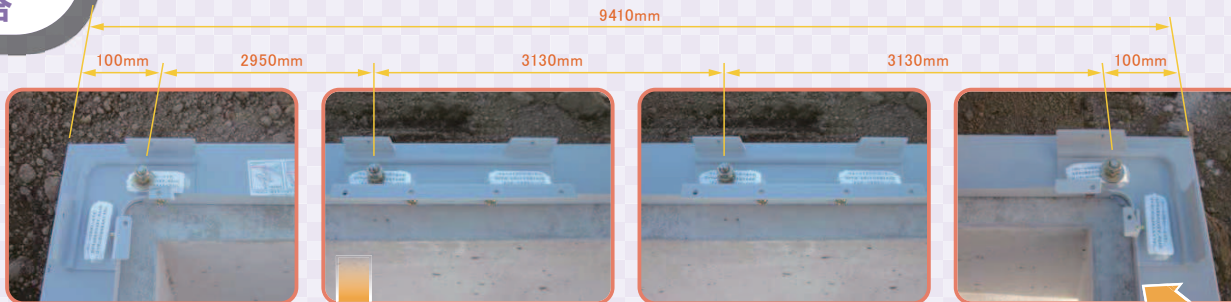


基礎天端は慎重に

土台を設置する基礎天端は、水平でフラットになるように特に気を付けて仕上げてください。隙間が出来たり、建物がゆがんだりしてしまいます。



水切り板が外側に落ちるので、基礎の外寸法が重要です。



基礎天より400mmになるよう打設をお願い致します。(高基礎仕様は基礎天より700mm) ※製品荷重が中柱に掛ります。



前柱とシャッターレールは地中に埋め込みます。



アンカーボルトはM10×160です。M12(市販品)も使用出来ますが、クリアランスに余裕が無い為、より本体施工精度が求められます(M12アンカーボルトをご使用の際は、ワッシャー(1枚)とナット(2個)もご用意ください)。